

第1404回例会 年忘れ家族例会



12月18日(火) ANAホリディ・イン金沢スカイで、第1404回例会 年忘れ家族例会が、内山会長の開会ゴングで開催されました。

クリスマスも兼ねていることから、日本でのクリスマスの始まりについてお話されました。

長い歴史の中宗教上の問題もあり、キリスト教禁止の時代もありましたが、明治には復活し、一般家庭のホテルでのクリスマスディナーやクリスマスケーキも販売されました。現在の日本では宗教的なものが薄れ、また今年は平成最後ということで、皆で楽しめたら、楽しんで下さい、とのお言葉でした。

社会奉仕委員長の岩井広政L.からは、武蔵で献血街頭キャンペーンのティッシュを12月16日(日)に、老若男女、外国人、観光客にも配布できたことが報告されました。

年忘れ家族例会では、例会から引き続き稲葉義弘L.が司会を務め、開会では年男の林昭夫L.が9月で60歳をお迎えになられたということで、赤いベスト(ちゃんちゃんこ)を着てご挨拶されました。



前会長の若林佳生L.のウィサーブにより懇親会がスタートし、先立って小川榮一L.の産業功労章の表彰を受け、花束が渡されました。アパレル業界では県で初めてのことであり、皆様のお陰です、と喜びを語っていただきました。

その後は景品争奪ゲームやサンタクロースの登場により、会場も盛り上がり、オークションではチャーリー寺西氏の司会でさらにヒートアップ。笑いの絶えない和やかな会となりました。

オークションで得た金額は、卯辰山事業に活かされます。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



今年も残すところあと10日余りとなりました。体調にお気をつけ、良いお正月をお迎え下さい。(記事：西田純L.)

献血キャンペーン



「12月16日 今も大賑わいの近江町にて、晴天の中、総勢12名で献血キャンペーンをしました。市民、観光客の皆さん、献血には意識も高く、快くティッシュを貰ってくれました。献血ルームには10名程献血をされており、我々の献血キャンペーンの励みにもなりました。皆さんありがとうございました。」(記事：永野琢也L.)

正月あるある

初詣と言うことばは大正時代新聞から生まれた。今日の初詣は明治時代に、鉄道会社が始めたイベントです。また「正月はいつまで」と聞くと、正月は左義長の15日(小正月)まで、7日(松の内)まで、元旦のみといろいろな声を聞きますが基本的に正月は左義長(小正月)までです。江戸時代に火災を嫌った幕府が、「寛文(1662年)七日を以て飾り納め」を指示したことにより正月は7日までとなる。同時左義長(どんど焼き)も禁止され、関東に波及していった。おせちを食べるときに飾り箸を使います。この箸は両端とも細くなっているの、どちらも使えますが、どちらか一方を使用し、反対側は神様が使用します。

編集後記 いのしし年と言うと「猪突猛進」を思い浮かべますが、現代 スマフォなどの情報に振り回されています。こんな時は、情報に一喜一憂しないで突き進むもよいかも・・・ 担当L. 北川